

株価予想手法からの東京都 Covid-19 新規感染者数の推移分析例

当ドキュメント内の直近最終週ページへのジャンプボタン

移動平均分析

ローソク足分析

回帰分析

対前週比

2023/5/6

継続ファイル

~2022/12/31

過去ファイル 

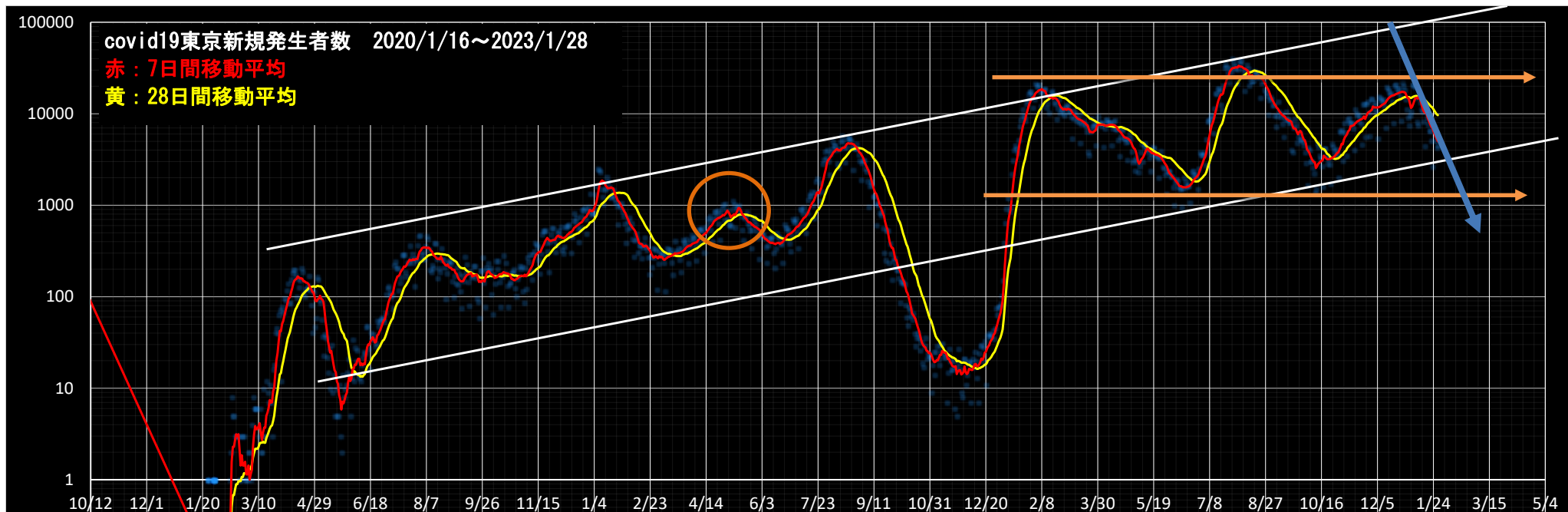
移動平均分析 2023年

1月7日 年末年始をはさんで7日間移動平均（短期）の振れ幅が激しい。28日間移動平均（長期）は上向き。

1月14日 ジェットコースターさながら乱高下している。

1月21日 昨年12月10日に触れた「三尊天井」になってきた。短期移動平均が下落を示唆する。

1月28日 昨前6波ピークと今回ピークがほぼ同値ゆえ長期トレンド転換の可能性大。しかも次週は三角持合い収束を迎える。



2月4日 実測値は下値抵抗線を下回る。3年間の上昇トレンドが直近1年間では水平なボックス圏となっている。

2月11日 短期(7日)移動平均が下値抵抗線を下回り、直近1年間のボックス圏のボトムに接近。

2月18日 短期移動平均は長期移動平均を下向きにリードしている。下落基調。

2月25日 短期移動平均は1年間のフラットなボックス圏の下値抵抗線を割り込み「三尊天井」の威力を見せるのだが…。

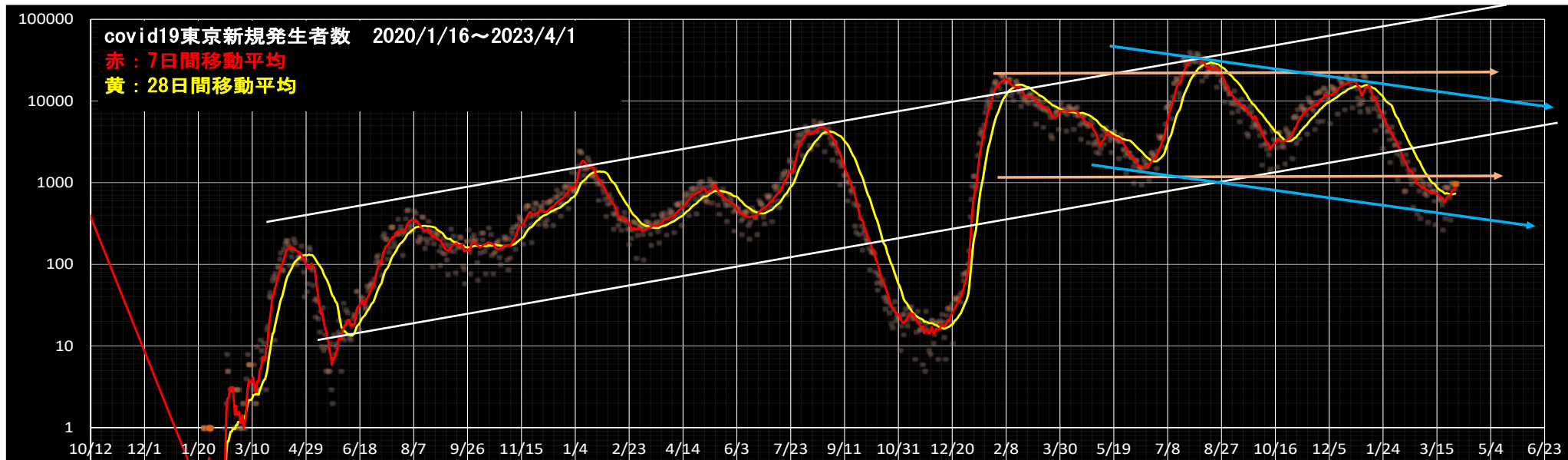
3月4日 短期移動平均が長期移動平均に接近しつつある。2週間以内にゴールデンクロスと見える。

3月11日 先週の予測通りゴールデンクロスにテンパイと見える。

3月18日 ゴールデンクロスを徳俵で回避した。

3月25日 先週に引き続きゴールデンクロスを徳俵で回避した。

4月1日 今週はしっかりゴールデンクロス。チャート、対前週比と共に反騰示唆。次のピークは長期トレンド次第。



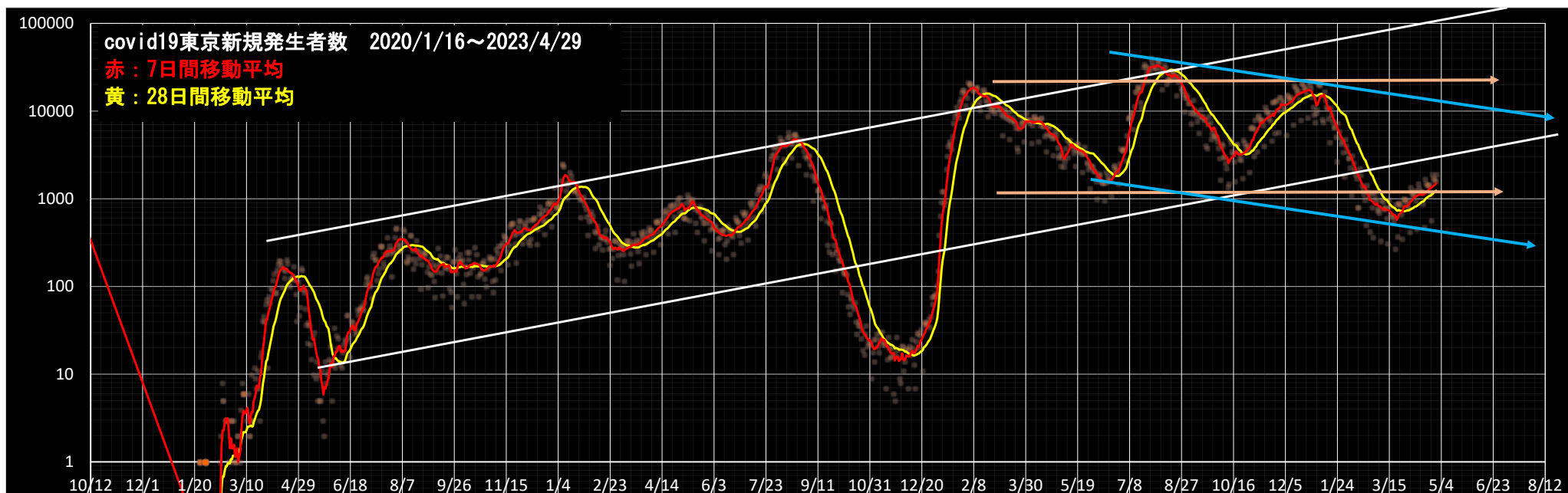
4月8日 過去の波動に倣いしっかりと反発した。次のピークは下降、横、上昇いずれのボックス上限を目指すのか。

4月15日 昨年2月以来のフラットはボックス圏の底値を上回ってきた。

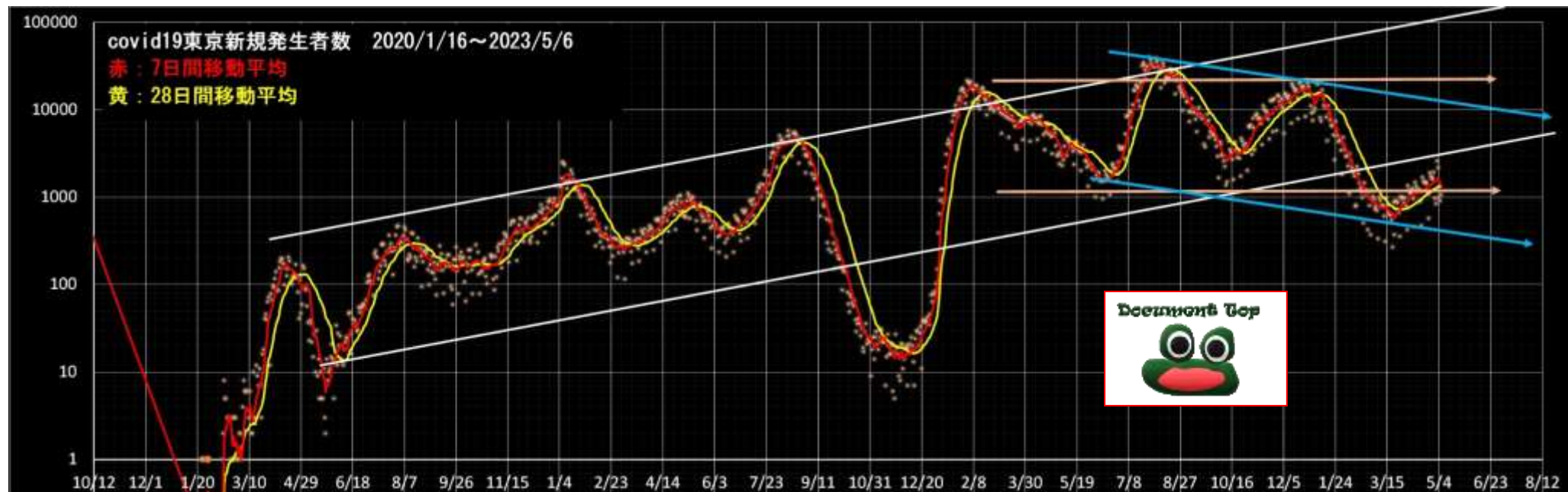
4月22日 次ピークは、3年間の上昇ボックス、1年間の横ボックス、昨年夏以降の下降ボックスいずれの上値抵抗線を狙うのか？



4月29日 3年間半継続したCovid19 東京新規感染者数推移だが、5類移行に伴いデータ供給が終了するため打ち止めにする。



Recent Week Moving Average 5月6日 GW後半に実測値が下落するのは毎年のことである。



ローソク足分析

2023年1月7日 先週「三尊」に触れたが、年末年始で東京に人がいなかっただけみたいである。「倍返し」の長い陽線。



1月14日 長めの陽線・陰線が交錯するが、週間最大値は3週連続減少。



1月21日 2~3週後に三角持合いの形になり下値抵抗線を切ると大幅な下落が待っている。



1月28日 早くも三角持合いの形になり下値抵抗線を切ると大幅な下落が待っている。



2月4日 4週連続で陰線。下髭は下値抵抗線を下回ってきたので三角持ち合い下抜けの期待が現実味を帯びる。



2月11日 5週連続陰線



2月18日 1年間のフラットなボックス圏の下側抵抗線を抜けたものの、週間では陽線に転じたもののローソク足自体は下抜け。



2月25日 底値圏で「陽線、長い下髭」と言えば反転上昇(リバウンド)示唆なのだが...



3月4日 波動のボトム圏で下髭が目立ちますと反騰が近い。



Recent Week Candlestick 3月11日 移動平均、対前週比、チャート全てが反騰を示唆している。



3月18日 移動平均はゴールデンクロス回避だが、チャートは継続的に反騰を示唆している。対前週比は下降を示唆。



3月25日 下髭付の陽線が続き、反騰の気配を強く感じさせながら週間レンジとしては微減ですか…。



4月1日 下髭付の陽線が続き、ついに反騰確認



4月8日 5週連続陽線。ボックス上限まで増加の余地があるが、3つのボックスのうち、どの上値ラインを目指すのか。



4月15日 3月12日が十字線、以降連続する長い下髭の陽線は株式チャートでは反転上昇のサイン



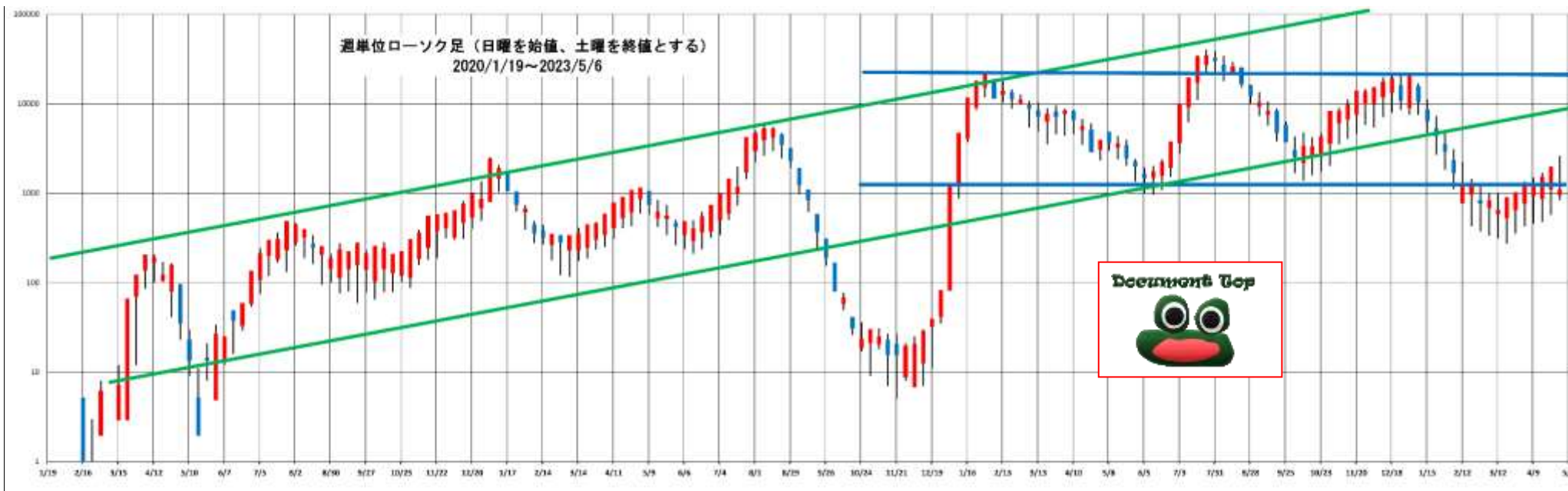
4月22日 今回の反騰は立ち上がりが「緩やかな型」である。紫線の傾きはリニアだが対数処理なのでエクスポネンシャルな変化。



4月29日 今回の上昇モードはモデラートなパターンだが、しっかりと長い下髭付陽線。



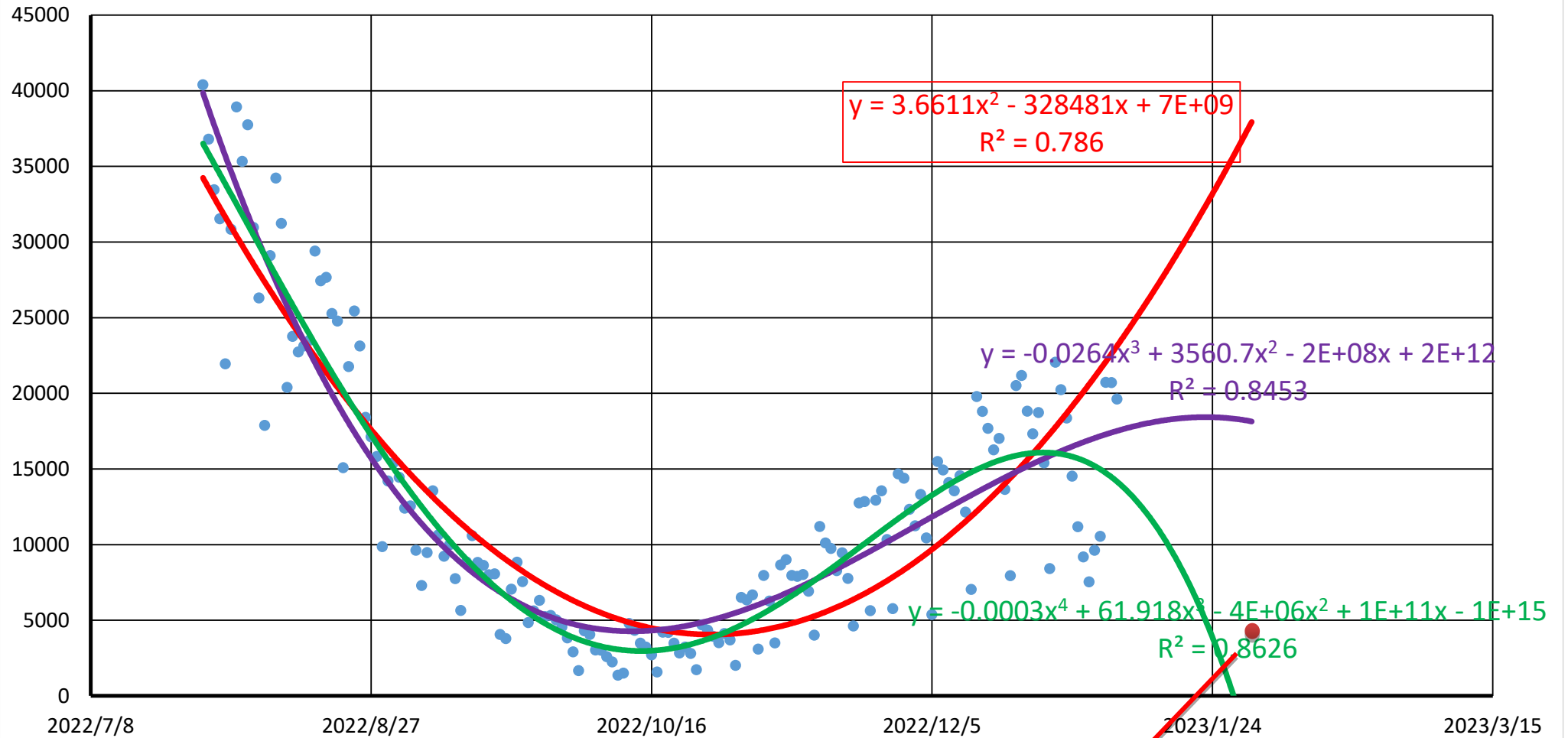
Recent Week Candlestick 5月6日 GWでオフィスや学校が希薄化して週間の実数は減少しているが、レンジとして上昇トレンド維持なのである。



回帰分析

2023年1月7日 多項式でフィットした場合は区間の選択で精度が大きく変わるが、昨年7/28（7波ピーク）～1/7を基に1/31の値を求めると増加・横ばい・減少に分かれる。 →1月31日実測値4,852人 R2乗値最大の4次式が示す予測が、最も近似的であった。

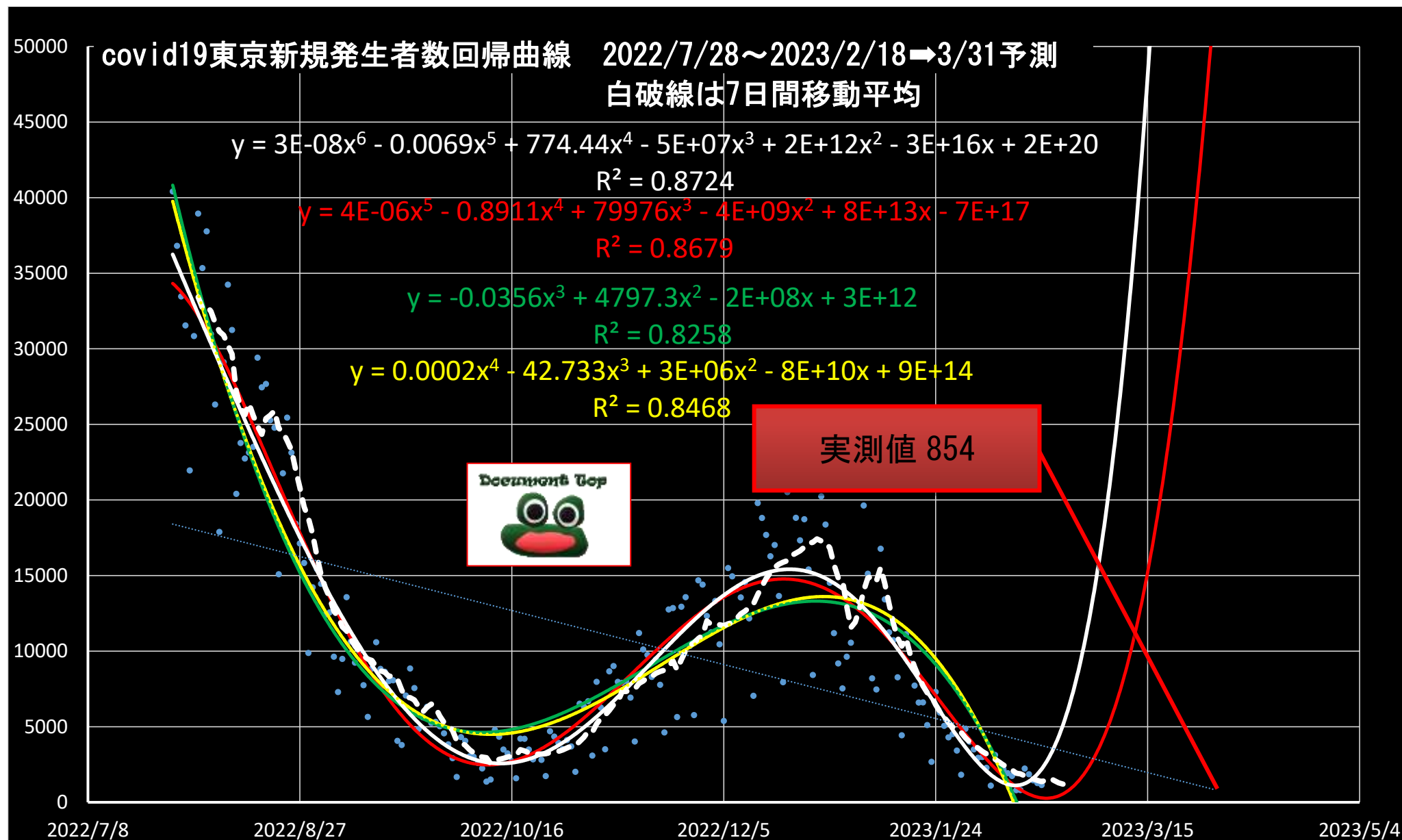
7/28~1/7実測値から多項式回帰



実測値 4862 下髭付

Recent Week regression 2023年2月18日 昨年7/28(7波ピーク)~2/18を基に3/31の値を多項式でフィットさせて求めると、R2乗値の高い6次式、5次式が増加を示唆。同値がやや低い3次式4次式は下落収束を示唆。一筋縄に収束とは言えないようである。

→3月31日実測値854人 R2乗値の高かった5次式、4次式が大外しであった。



対前週比

2023年1月7日 年末年始をはさみ、大幅急上昇であったが、ゴールデンクロス直前。

1月14日 年末年始の特殊な状況を踏まえても長期移動平均が下落基調かつデッドクロス直前である。

1月21日 デッドクロスを確認できるが乱高下している。

1月28日 マイナス圏内を推移し、下降トレンド。

2月4日 今週もしっかりとマイナス圏に張り付き、長期(28日)移動平均もマイナスなので下降トレンド維持。

2月11日 短期移動平均が下げ止まり長期移動平均に接近しているが、ゴールデンクロスをかわしている。

2月18日 対前週比は下げ止まっているが、マイナス圏内は維持。

2月25日 マイナス圏だが2週前から下げ止まりゴールデンクロス。チャートの陽線と併せてボトム形成期を示唆か。

3月4日 急速にゴールデンクロス。

3月11日 7日間移動平均がマイナス圏ながら28日移動の上に出ている。

3月18日 マイナス圏で、こちらはデッドクロス直前。

3月25日 先週の見立て通りデッドクロス。実測値の「三尊」以降のトレンドを支える。

4月1日 こちらも先週のデッドクロスから反転ゴールデンクロスになり、一気にプラス領域入り。

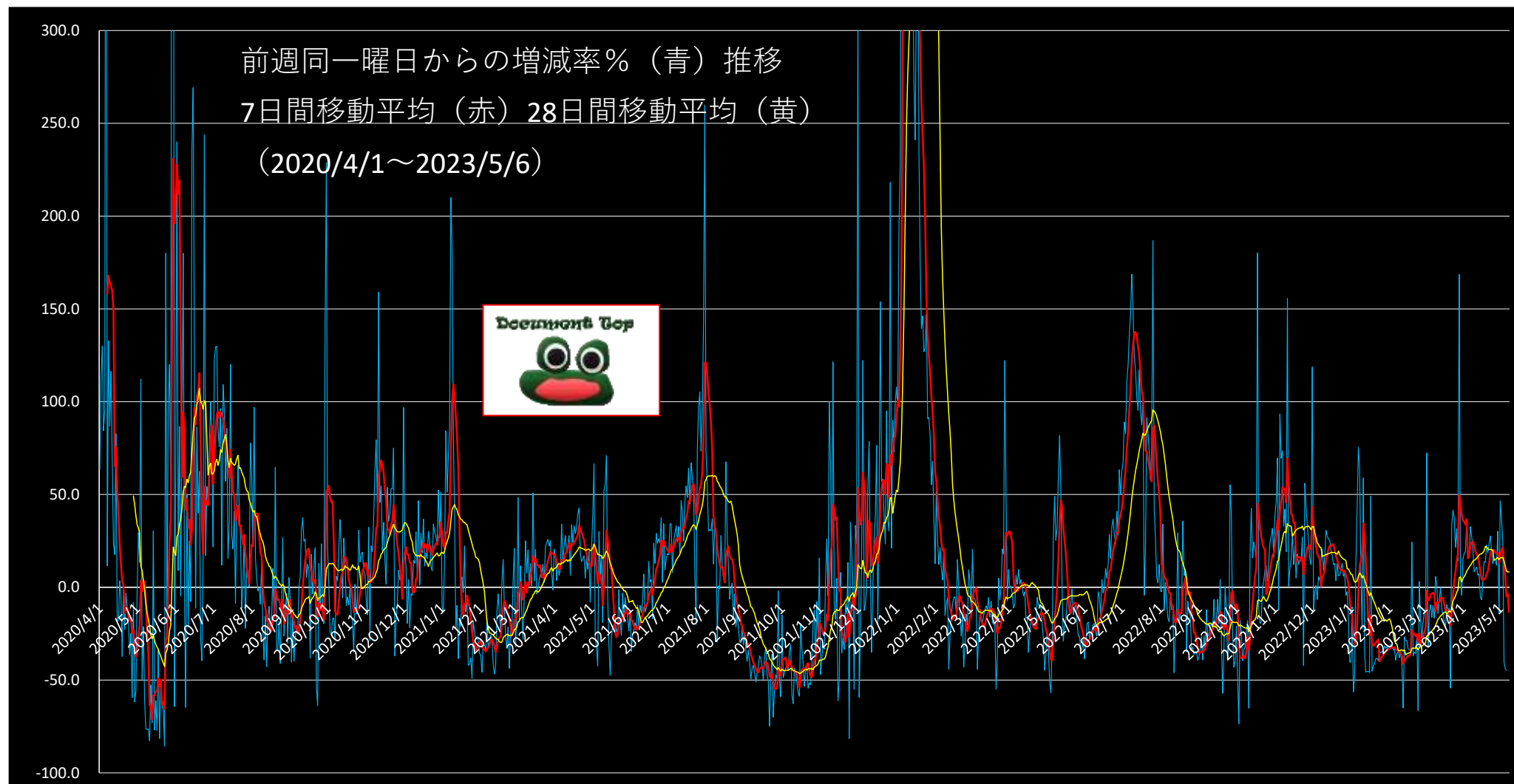
4月8日 プラス圏内推移。次週も実測値増加を懸念。

4月15日 この値は今週デッドクロスをして次週はマイナス圏内もありうる。

4月22日 記録メモを残してグラフは最終週でまとめる。先週デッドクロスをしたが反騰し、プラス圏内維持。

4月29日 今週は再び大きく上昇し、実測値アップを示唆する

Recent Week week-on-week comparison 5月6日 下表のとおりGW後半は毎年下がりマイナス圏内に入るが、開けてから増加に転じてきた。



2020/5/5 火	-49.6	2020/5/6 水	-21.3
2020/5/7 木	-61.0	2020/5/8 金	-76.4
2020/5/9 土	-76.6	2020/5/10 日	-76.3

2021/5/4 火	-26.4
2021/5/5 水	-32.9
2021/5/6 木	-42.5

2022/5/3 火	-33.5
2022/5/4 水	-50.4
2022/5/5 木	-57.0
2022/5/6 金	-31.1